

関東ろうバレー大会と JOC 選考会

県立平塚ろう学校中学部 2年

たかはま さ ゆ き
高浜 彩佑生

「ピーッ」

あれ…。勝った？

勝ったという実感がなかったから、得点めくりを見た。そこには、喜んでいて踊っているように少しゆらゆらと動いている「25」が見えた。本当に勝ったんだ。その時、私達は優勝したんだと実感した。

関東ろうバレー大会の表彰式。私達はトロフィーと優勝旗を手に入れた。トロフィーと優勝旗を持つ高等部の4人を見ていると4人の背中がキラキラと輝いていてかっこよく見えた。そして私の首にも金メダルをかけてもらった。よろけそうなほどメダルがずっしりと重く思えた。

今年は優勝という結果を残せたが、来年も金メダルをとってみんなを見返したい。そのためには自分の技術をみがかなくてはと心に決めた。

そして、早速その機会が訪れた。8月2日～5日までJOC選考会に行った。JOC選考会というのは、神奈川県の中のそれぞれの中学校のバレー部から条件に合った人153名が参加して、合計277人も集まって練習や練習試合をやるという選考会だ。しかし、ろう者は私一人だけ、他の276人は全て聴者という中で、練習などでコミュニケーションは大丈夫なのだろうか…、と不安だった。でも、よく見ると、いつも練習試合をしてくれる学校や合同チームをやった学校の人の知っている顔があった。ちょっと安心したが、ろう者がもう1人いればなあ…、と思いながら開会式に参加した。

1日目は、海老名総合体育館。その日は、アタッカー、セッター、レシーバーそれぞれ分かれて練習をやった。私はアタッカーなので、スパイクの練習をやった。ネットの高さが高等部と同じで今までずっと高等部のネットで作ってきたから大丈夫かと思いきや、先生が投げるボールの高さと位置が合わなくて、なかなかいいスパイクができなかった。周りの様子を見ていると、バンバンとすごいスパイクが次々と入っていた。なんだか、私は初心者みたいだなと思うくらい他の人はすごく上手くてちょっと悔しかった。

2日目と3日目は、相原高校と伊勢原中学校。練習と練習試合をたくさんやった。チームを16チームくらいに分かれてやったのだが、コミュニケーションがなかなかとれず、やりづらかった。けれど、チームの雰囲気は良かった。

最終日。場所はバレーでも、野球でも有名な横浜隼人高校。ここ的高校で練習ができるんだって少しわくわくしたが、チームは昨日とは全然違うチームなので不安はあった。始めのころはチームの会話が全然なくて、このままで大丈夫なのだろうか…、と心配になってきたが、途中、チームで反省会をやる時このチームのキャプテンが暗い雰囲気から明るい雰囲気に変えようと必死でチームのみんなに話しかけていた。そして、その後試合をやったら、大差で勝てた。その時、みんなで肩を組んで輪になった。とても嬉しかった。

4日間JOC選考会に参加して初めて知ったことは、知らない聴者に囲まれても、ろう者、聴者関係なく、みんなでバレーを楽しめることだ。最初、ろう者1人だ、嫌だな。とずっと思ったけれど、ろう者の事を理解してくれる人達からいろいろと助けてもらって、少しずつ聴者と仲良くなれた。聴者はバレーの試合では声を使ってコミュニケーションをとる。私はそれができない。いつもは、声じゃなくて手話やアイコンタクトでコミュニケーションをとっている。でも今回は手話ができる人がいない。けれど、チームのみんなは私の事を考えてくれて身ぶりで表してくれたり、手の平の上に文字を書いたり色々工夫してくれた。このようにお互いに歩み寄ればろう者のことを理解してくれたり、同じスポーツを楽しんだりできるのだと実感した。でも、この中にはろう者のことを全然分かっていない聴者はたくさんいるはずだ。お互いに認めあえるようにろう者も努力しなければならないのだと思う。

このJOC選考会に行ってきたたくさんの今まで知らないことが分かり、本当にいい経験になった。

この貴重な経験を生かし、来年も関東ろう大会優勝の目標を持ちながら練習をしたいと思う。